

## 質 疑 回 答 書

入善町長 笹島 春人

(公印省略)

工事名:入善小学校大規模改造工事 建築主体工事(第2期)

質 疑 事 項		回 答
1	工事説明書 工事着工は、夏休み関係なく開始してもよろしいでしょうか。 (契約又、安全書類・計画書提出後工事着工開始)	学校運営に支障がないと判断する工事については、開始可能とする。 契約後、小学校、教育委員会、監督員と協議すること。
2	設計書P3 内部足場ですが、2階 X5~12・Y6~7、 X8・9・10~11・Y6~8、 X8~12・Y6~7、 既設壁解体時・新設間仕切壁施工時にH6.0m必要ですが設計書に数量がありません。内部足場で計上します。	参考数量とする。 受注後に協議の対象とする。
3	設計図A-10、24 ワークテラス西側は第3期(外部床・外壁)と考えます。	A-24図のとおり、本工事とする。
4	設計図A-33 スロープの仕様は木製下地+タイルカーペットとします。	よろしい。
5	設計図A-49 落下防止手摺(AW204+既設2階窓)14ヶ所の仕様。	アルミ40×20 t2.5 L=4000 参考品番:中尾製作所 KP-40SI 2.5 同等品とする。
6	設計書P8、9、設計図A-49、50 AW105・202、図面と設計書数量違い→建具配置を正として良いですか。	AW-105:2箇所、AW-202:3箇所とする。
7	設計図A-51 第1期部分のSS-101ですが、電動開閉機のみを交換として良いですか。	図面のとおり、SS-101を更新とする。
8	設計書P25、設計図A-57 11-1窓下書架、図面と設計書数量違い→備品図を正として良いですか。	11-1窓下書架:2箇所とする。
9	設計書P30、68、84、設計図A-59、60 図面と設計書数量違い→サイン符号図を正として良いですか。S1=16+1+1、S2=2、S3=3+3	サインS1:18箇所、S2:2箇所、S3:6箇所とする。
10	設計図A-30 2階空室の床の解体は計上してありますが、腰壁の解体も含めます。	腰壁の解体は行わない。
11	設計図A-35 昇降口の框(御影石)が設計数量にありません。	参考数量とする。 受注後に協議の対象とする。
12	設計図A-34、35 2階の防火上主要な間仕切りの上部、梁・スラブ面のウレタンの撤去は必要ですか。	撤去とする。

質疑事項	回 答
13 設計書P28、67、設計図A-59、60 B-203・204・301の数量が図面・設計書と違います。ブラインド符号図を正として良いですか。	ブラインドB-203:3箇所、B-204:なし、B-301:2箇所とする。
14 設計書P31 雑工事の手動スクリーン(150インチ)型式の指示	仕様は以下のとおりとする。 スクリーン生地:ホワイト(WG103) 防炎品 スクリーンケース:アルミ 白色 L3600×H200×D200 アスペクト比:WXGAタイプ(16:10) RoHS対応品
15 設計書P46、設計図A-21 ※体育館の非構造部材の落下防止工事 バスケットゴール耐震補強用金具の取付(固定式・折りたたみ式)方式を指示をお願いします。	アイボルト(M12、M8)とSUSワイヤー6φにて結合する。 ※別紙参考写真とスケッチ参照
16 設計書P46、設計図A-21 ※体育館の非構造部材の落下防止工事 校歌額の落下防止枠の仕様を指示をお願いします。	回答15と同仕様とする。
17 設計書P45、設計図A-21 ※体育館の非構造部材の落下防止工事 体育館内の床養生が全面計上してありますが、バスケットゴール下の施工部分のみの計上として良いですか。	参考数量とする。 受注後に協議の対象とする。
18 設計書P47、設計図A-39 ※体育館棟のトイレ改修工事 体育館棟のトイレにピットがありますが、防水仕様及び数量の指示をお願いします。 床点検口の計上もありません。	ピット内は既存のままとする。 床下点検口(600角SUS製化粧蓋)を2ヶ所設置とする。
19 設計書P57、設計図A-45 ※体育館棟のトイレ改修工事 体育館棟のトイレ内-ライニングトップ仕様が図面と設計書では違います。 どちらが正しいでしょうか。	メラミンポストフォームとする。
20 設計図A-39 ※学童保育室増築工事 増築学童保育室と既設建物間のフェンス扉の仕様・大きさの指示をお願いします。	メッシュフェンス(H1200×W800)とする。
21 設計書P4、設計図A-02 特記仕様書の塗膜防水X-2(密着工法)に○印、設計内訳書にはX-1(絶縁工法) →どちらでしょうか? 指示をお願いします。	X-1(絶縁工法)とする。
22 設計書P56、設計図A-02、11 特記仕様書のタイルには25角モザイクタイルに○印 壁タイルにはモザイクタイルとあります。 設計内訳書にはモザイクタイルとあります。 →モザイクタイルは25角、50角どちらですか? (タイルのメーカー等同等品の指示をお願いします)	25角とする。
23 設計書P84、設計図A-04 排水管※VPとあります。設計内訳書にはVU管とあります。 →どちらでしょうか? 指示をお願いします。	VU管とする。
24 設計書P49、設計図A-17 体育館トイレ改修の屋根にC部②の表示あります。 設計内訳書にはシート防水等の項目なし。 →シート防水工事などありますか? 指示をお願いします。 (①既存塩ビシート撤去②下地調整③シート防水④改修用ドレン⑤既存笠木取外し、再取付⑥軒樋・壁樋)	左記範囲は次期工事とする。

	質 疑 事 項	回 答
25	<p>設計図A-17            体育館トイレ改修の屋根にC部②の北側の庇？            防水工事ありますか。            有なら防水工事の指示をお願いします。</p>	<p>左記範囲は次期工事とする。</p>
26	<p>設計図A-08            工事区分表に機械基礎について建築主体に○とありますが、設計図に記載がなく不明です。</p>	<p>機械基礎は不要とする。</p>
27	<p>設計図A-29            体育館棟のトイレ改修工事にて、1階解体撤去図-2に既存和便器撤去箇所塞ぎ詳細図の記載がありますが、建築主体工事においては設計書記載の通り、床モルタル塗り、床セルフレベリング、床シート張りのみの計上とし、既存和便器の撤去及びスラブの撤去・復旧、アスファルト防水、押えコンクリートの復旧等に関しては他の工事区分と解釈すればよいでしょうか。</p>	<p>既存和便器・スラブの撤去は設備工事とする。            撤去後のスラブ、防水、押えコンクリートの復旧は本工事とする。</p>
28	<p>設計図A-39            学童保育室周り平面詳細図にフェンス扉が破線で記載されていますが本工事に含まれますか。含める場合、寸法や参考品番号を指示願います。            又、外部の建物周辺の外構の仕様が不明ですが、外構は本工事には含めない解釈すればよいでしょうか。</p>	<p>質疑20回答を参照のこと。            建物周辺の外構は次期工事とする。</p>
29	<p>設計図A-20、08            1階平面図-2の機械室について、図面上では本工事対象範囲外となっていますが、防油堤解体撤去及び新設の記載があります。本工事に含まれるのでしょうか。            又、A-08区分表に機械室・ピット・マンホール・水槽等で○がついている項目がありますが、本工事に該当するものが存在しますか。</p>	<p>防油堤解体撤去及び新設は本工事とする。            その他、本工事に該当するものは無し。</p>
30	<p>設計図A-01、13、14            仮設間仕切りについて、A-01特記仕様書では石膏ボードが9.5+12.5となっていますが、A-13及びA-14では片面12.5となっています。            A-13及びA-14を正と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしい。            (片面石膏ボードt12.5)</p>
31	<p>設計図A-48            男子トイレの小便器手摺について、A-48各部詳細図では設置箇所1ヵ所と記載がありますが、設計書には数量が計上されていません。            本工事に計上すればよいですか。</p>	<p>本工事とする。</p>
32	<p>設計図A-49、51            A-51建具表2に記載のシャッターSS101の位置について、A-49建具符号図ではX13～X14通りの間のY5通りの位置に符号があるように見えますが、取付位置はその部分で正しいでしょうか。            又、位置が正しい場合は本工事対象範囲外の部分に含まれるのですが、どの時期の施工と考えればよろしいでしょうか。</p>	<p>正しい。            夏休み中の工事とする。</p>
33	<p>学童保育室(新築部分)のパラペットの詳細が不明です。</p>	<p>設計図S-5 パラペット仕様とする。</p>

質疑事項	回 答
<p>34 設計図A-16、17 A-16、及びA-17の全体平面図に記載の防火上主要な間仕切りについて、矩計図及び平面詳細図では壁の仕様が判断できない箇所があります。 1階:教材室のX8通り、CRのX12通り 2階:CRのX12通り 仕様について指示願います。 又、1階の教材室～通級教室の移動間仕切りの上部には間仕切壁は存在しますか。</p>	<p>左記の教室の仕様は以下のとおりとする。 1階教材室のX8通り:凡例のL片S 1階CRのX12通り及び2階CRのX12通り:既存防火上主要な間仕切り壁にEP塗り  1階の教材室～通級教室の移動間仕切りの上部は、間仕切り壁を施工すること。</p>
<p>35 設計書P8、設計図A-49、50 建具の数量について 設計書8頁では、AW105の箇所が3箇所になっていますが、設計図A-49図及びA-50では2箇所です。 図面に記載のない部分に存在しますか。</p>	<p>質疑6回答を参照のこと。</p>
<p>36 設計書P9、設計図A-49、50 建具の数量について 設計書9頁では、AW202の箇所が4箇所になっていますが、設計図A-49及びA-50では3箇所です。 図面に記載のない部分に存在しますか。</p>	<p>質疑6回答を参照のこと。</p>
<p>37 設計書P13、設計図A-49、51 A-51建具表2では、SPW101・102が計7か所と記載がありますが、このSPW102の記載についてはA-49建具符号図から判断すると、SPW201の記載が正と考えればよいでしょうか。 又、設計書13頁のSPW201の仕様は、木製片引き戸(連動タイプ)ではなく、SPW101と同様に木製大型間仕切り壁と考えればよいでしょうか。</p>	<p>SPW101・201が計7箇所とする。 SPW201は、木製大型間仕切り壁とする。</p>
<p>38 設計図A-49 A-49建具符号図に ※落下防止手摺 既設部分に12ヶ所取付(AW204同様)と記載がありますが、設計書には記載ありません。 本工事に計上しますか。 又、計上する場合はA-49記載のAW204の内、ワークテラスに面した2ヶ所以外に、既設部分に10ヶ所存在すると解釈すればよいですか。</p>	<p>本工事とする。 落下防止手摺は計14箇所とする。 (新設:2箇所、既設:12箇所)</p>
<p>39 設計書P10、63、設計図A-49、51 建具の数量について 設計書10頁及び63頁では、LSD101の数量が計3箇所となっていますが、設計図A-49及びA-50から判断すると2箇所です。 図面に記載のない部分に存在しますか。</p>	<p>LSD101は、2箇所とする。</p>
<p>40 設計書P25、設計図A-57 A-57図書室備品図では、11-1窓下書架の数量が2箇所分の記載となっていますが、設計書25頁では数量が1箇所の計上となっています。 A-57記載の2箇所が正ですか。</p>	<p>質疑8回答を参照のこと。</p>
<p>41 設計図A-59、60 ブラインドについて各図面において数量の不整合があります。 A-59図では、【B203が3箇所、B204が2箇所、B301が2箇所】となっていますが、A-60図リストでは【B203が2箇所、B204が2箇所、B301は記載なし】となっています。 A-59図の数量が正と考えればよいですか。 又、B-201について、A-60図リストに記載の寸法では幅が不足しているかと思われます。</p>	<p>B203が3箇所、B204が無し、B301が2箇所とする。 B-201の幅は2260mmとする。</p>

質疑事項	回 答
<p>42 設計書P30、57、68、84、設計図A-59、60 サインの数量について 設計図A-59及びA-60では【S1が18箇所、S2が2箇所、S3が6箇所】となっています。 設計書では、30頁(S1が18箇所、S3が5箇所)、57頁(S1が2箇所)、68頁(S1が1箇所、S2が2箇所、S3が3箇所)、84頁(S1が1箇所)と記載があり、合計で【S1が22箇所、S2が2箇所、S3が8箇所】となります。 設計図が正でしょうか。</p>	<p>質疑9回答を参照のこと。</p>
<p>43 設計書P16、65、設計図A-03 塗装工事のEP塗りについて A-03特記仕様書(3)ではEP塗りの種別がB種となっていますが、設計書16頁ではA種、65頁ではB種の記載となっています。設計書16頁の分はA種でなくB種でしょうか。</p>	<p>EP塗りはB種とする。</p>
<p>44 設計図A-51 SPW-106・202・203の連動タイプは製作できません。</p>	<p>扉を閉める際に連動する仕様とする。 (第1期工事同仕様)</p>